

## 第1回地方自治法施行60周年記念貨幣のデザイン等検討会

日時：平成21年5月21日（木）17：30～19：30

場所：高知県庁 第2応接室

出席者：別紙のとおり

〔十河副知事〕 あいさつ

- ・ 国において地方自治法施行60周年を記念して、全国の各都道府県にちなんだ記念の貨幣と記念切手を発行することになり、昨年度からその取組を進めた。本県は、来年のNHK大河ドラマ「龍馬伝」の開催にあわせ、土佐・龍馬であい博を開催するので、その時期に合わせ記念貨幣や切手を発行してはどうかという思いがあったが、県の思いだけでは進めていくことは出来ないもので、昨年県民の皆様からテーマを募ったところ、我々の思いと同じく県民の皆様も「龍馬」というテーマが第1になり、22年度の「龍馬伝」に合わせて22年度前半の発行を、知事会を通じ、総務省、財務省に依頼した。
- ・ 2月26日に、財務省から22年度前半に、テーマは「坂本龍馬と太平洋～時代を切り拓いた土佐人とその風土」で発行されることが決定された。
- ・ 検討会では造幣局においてデザインをしていただくにあたって、そのもととなる写真などの素材の提出を求められているので、委員の皆様幅広い視点からご意見をいただき、検討していただきたい。
- ・ 記念貨幣、記念切手の発行が本県のイメージアップ、交流人口の拡大、高知県のすばらしい人材や風土が全国に発すべきものが記念貨幣や記念切手になればいいと思っている。

〔事務局〕－ 委員紹介・会長選任－

〔西山会長〕

- ・ 坂本龍馬と太平洋がテーマということで、記念貨幣が発行されることは大変うれしく思う。
- ・ 先ほど副知事からのお話にもあったように、坂本龍馬は全国でも絶大な人気がある。このテーマで記念貨幣が発行されるということは、来年のNHKの「龍馬伝」も控えて、大いに意味があるものと思っている。
- ・ このチャンスを活かして、観光をはじめとする本県の経済活動が、ますます活発になっていけばいい。
- ・ 高知県らしいデザインになるよう皆様にご検討いただき、素材を取りまとめていきたい。

－ 会議の公開について－

〔西山会長〕

- ・ 県の指針で審議会等の会議は原則公開となっており、会議室のスペースの許す限り一般県民の方も傍聴できることとしたいと思う。
- ・ 検討会を公開することについて意見はないか。

〔各委員〕

- ・ 異議なし

〔西山会長〕

- ・ 非公開で会議を運営する必要がある場合は、その都度諮って決定する。
- ・ 会議の公開については、傍聴要領を別途定めている。

－ 記念貨幣の発行について－

〔造幣局〕

- ・ 五百円は銀貨ではなく、バイカラークラッドという何種類かの銅を合わせたものになっている。
- ・ <造幣局の資料をもとに>今まで発行されたもので、千円は40mm、五百円は26.5mmの実寸で表示されている。千円はカラーが入るのでこの大きさの図案で考えてもらいたい。
- ・ いろいろな県がそれぞれのコンセプトで作っており、京都、新潟は千円銀貨と五百円バイカラーは

同じテーマで。北海道、島根、長野は別のテーマになっている。北海道は洞爺湖とタンチョウが描かれているが、サミットが洞爺湖で開かれたので洞爺湖をデザインに用いたが、実際タンチョウは洞爺湖に飛んでいない。実際のものでなくて、デザインをいろいろ組み合わせてもらって構わない。考えられない構図でも構わない。

- ・ 全国の皆さんが楽しみにしている。高知県が発行するのであれば、すぐに高知県とわかるもの、アピールできるものを期待していると思う。
- ・ モチーフに採用されなかったものは、貨幣セットのパッケージや中の説明紙に使用できる。説明紙の内容は県において対応願う。
- ・ 素材を選ぶについて、著作権が最近かなり厳しくなっているので注意を。
- ・ 次の会でデザインを製作し、それをもって開いていただくことになるが、注意事項として、貨幣の形となったデザインを持ってきた場合は、マスコミに入っていたいただくのは構わないが、公表は差し控えていただきたい。
- ・ 東京芸大の宮川学長が座長となっている造幣局の検討会でデザインを直し、最終的に国の貨幣なので、財務大臣が決定する。それまではマスコミに洩れるのを防ぐ。

[西山会長]

- ・ 素材で龍馬の写真は著作権があるのでは。

[事務局]

- ・ 県が所有しているものを基本的に使っている。
- ・ 銅像自体は昭和3年に建てられたが、製作者の本山白雲が昭和27年に亡くなっている。製作者の著作権は没後50年なのでクリアしている。

#### ー デザインの素材の検討（千円貨幣） ー

[事務局]

- ・ 素材と選定方法について説明

坂本龍馬と桂浜の情景組み合わせた形で、A～Gの7パターンを提案させていただいた。

- A：龍馬像（正面全身）＋桂浜（3種類の「荒い波」 A-1～A-3）
- B：龍馬像（正面全身）＋桂浜（4種類の「穏やかな波」 B-1～B-4）
- C：龍馬像（正面上半身）＋桂浜（3種類の「荒い波」 C-1～C-3）
- D：龍馬像（正面上半身）＋桂浜（4種類の「穏やかな波」 D-1～D-4）
- E：龍馬像（斜め上半身）＋桂浜（3種類の「荒い波」 E-1～E-3）
- F：龍馬像（斜め上半身）＋桂浜（4種類の「穏やかな波」 F-1～F-4）
- G：龍馬肖像＋桂浜（3種類の「荒い波」と「穏やかな波」 G-1～G-4）

[西山会長]

- ・ 事務局説明に沿った手順で進行していく。
- ・ 素材についての意見・感想はないか。

[森委員]

- ・ 見た感じで、桂浜の竜宮様の前の波が大きいかわさいかの違いでよく見るパターンという感じ。「これ面白い」というのではなく、いつもの龍馬という感じ。決まっているような感じがした。

[十河副知事]

- ・ 岡崎、宮村委員が欠席だが、事前に事務局がご説明し、感想と選定理由を1つの意見として伺っている。事務局から紹介させていただきたい。

[西山会長]

- ・ テーマで龍馬と太平洋なので、桂浜に限らないが。

[森委員]

- ・ 桂浜の撮り方が全部同じであり、もう少し角度の変ったもの、沖の方から撮ったものとか、もうちょっとないかという感じ。
- ・ 今（坂本龍馬）記念館に置いてあるのは龍馬の原型。本山白雲さんの子孫が持ってきたのは男前。銅像は下から見たときにちゃんと見える様に膨らんで彫るらしい。元の写真を見て本山白雲が作った

現物は男前。

- ・ 写真でも持ってきませんか。ケースに入れてあって、70cm くらい。

[西山会長]

- ・ それは龍馬を入れるということの案ですね。

[島田委員]

- ・ 資料を見せてもらう前にイメージしたのは、千円硬貨の中に白・青・緑が写っているのは綺麗。龍馬が写っている波をどうとるかは別として、これもいいとは思いますが、地方自治60周年とか、坂本龍馬が向かっていた先とかを考えると、龍馬は海のほうへ向かって、彼方を見て夢を描いているというのが、動きがあっているのでは。
- ・ 色合いからすれば、桂浜の緑とか、白とか見えていいが。

[西山会長]

- ・ 岡崎委員の意見はどうなっているか。

[事務局]

- ・ 宮村委員からは背景については早朝を撮した桂浜の写真を提案
- ・ 波では、穏やかな波が時代の夜明けというイメージ的にもいいのではないかと。
- ・ 本体については斜めの案。正面はよくあるが、斜めは出回っていない。
- ・ 岡崎委員は、斜めの穏やかな波が一番。続いて荒い波。写真は選んでいない。

[造幣局]

- ・ デザインは、写真をそのまま使うわけではない。写真をもとにレリーフを起こすという風に考えていただきたい。
- ・ 個人的な意見となるが、高知県が龍馬を採用する場合、日本の記念貨幣で初めての肖像貨幣ということになり、写真なり貴重な資料を参考にさせていただいて肖像を前面に出せば、それは一つのアピールになる感じがする。
- ・ 他方、銅像を用いることにした場合は、あくまでも銅像を描いたものになるので、肖像貨幣とはいえないであろう。

[西山会長]

- ・ 事務局の選定方法の案はA～Gの中から、それぞれ1つを選んでいただいて、7つの中から5つくらいを選ぶという案。他にいい方法はないか。

[森委員]

- ・ 記念館にはいろいろなグッズがあるが、マンガに描くなど色々な龍馬があるが、必ず売れるのが写真の龍馬。同じようなものを並べて置いて飛びつくのは、見た感じいまひとつのものでも、作ったものよりそのままの龍馬が人気がある。
- ・ 銅像の顔と写真の顔とは違い、売れ筋なのはそのまま龍馬の写真という現状。来館者がそれを求めている。
- ・ 龍馬の顔はだいたい7体あり、横顔や朝顔の前で座ったものなどがあるが、一番出るのは皆さんがよく見るこの写真。龍馬としたら写真がいきわたっている。

[柴岡委員]

- ・ 銅像か写真かということか。
- ・ 最初は銅像だと思っていたが、「龍馬」という売りの部分で、硬貨で肖像というのが初めてと言われると、モチーフとして面白いと思う。銅像か肖像かどちらかにするとしたら、おのずと決まるのではないかと。

[西山会長]

- ・ 肖像となると写真。写真はボケているが、貨幣になるとどうか。

[造幣局]

- ・ 綺麗な写真を提供いただいてデザインを作るが、どの程度細部まで表現するのかということもある。

[西山会長]

- ・ この立ち姿の写真は現物もあまりはっきりしてないですよ。現物も。

[森委員]

- ・ 写真は原版など色々ある。

[島田委員]

- ・ 色は、変更できるか。

[造幣局]

- ・ 変更は可能であるが、引き立たせる場合は竜馬には色を入れないことも考えられる。
- ・ 造幣局において銅像を用いたデザイン案と写真を用いたデザイン案の両方を作成する、とすることに問題はない。

[事務局]

- ・ 銅像や肖像を使うということを、5案ぐらいまで提案できる。

[柴岡委員]

- ・ 肖像と銅像はモチーフが違う。検討会で方向性を決めないといけない。
- ・ 銅像はアングルが違うだけで、ある程度決めないとバックも決まらない。

[事務局]

- ・ 5月末までに造幣局に提出しなくてはならない。
- ・ あまり具体的にこのタイプと決めてしまうと、そのままデザインになるかと言えば微妙なところもある。いくつか幅広い形で、形の違ったものでもいいと思う。

[柴岡委員]

- ・ 源氏物語のようにアニメ的なものなどは、事務局の提案にない。
- ・ 銅像か肖像かどちらかを選ぶということになっている。我々がこの7つの中から選ぶとしたら、銅像か肖像かというのはいぶん違う。

[島田委員]

- ・ 銅像、肖像、いくつかの案を示し、その結果をデザインとして、またいくつかの案を次の会で示してくださるのであれば、銅像を使ったデザイン、肖像を使ったデザイン両方を見てみたい。

[柴岡委員]

- ・ 銅像はこれ1つか。アングルが違うだけで。

[事務局]

- ・ 元の銅像は1つ

[森委員]

- ・ 肖像というのはいろいろある。

[事務局]

- ・ いくつか龍馬の写真もあり、美術館の学芸員さんにも入っていただき、庁内でチーム会を開いて、あまり多く例示しても難しいので選抜し、今回の案を示させていただいた。

[柴岡委員]

- ・ 今回のミッションはこの中から選ぶということか。

[造幣局]

- ・ 単純な選び方としては、貨幣の中に全身を入れるなら銅像、アップにするなら肖像、という考え方もあるのではないかな。

[西山会長]

- ・ 事務局案ではA~Gの中からそれぞれ1つ選び、その7つの中から5つくらい絞るという案。それでよろしいか。

[各委員]

- ・ 異議なし

[西山会長]

- ・ 写真を残さなくてはならないと思う。

[宮脇委員]

- ・ 写真とF-4の背景を選ぶことはできないか。

[事務局]

- ・ 最初はA~Gの中から選んでいただいて、次に委員の方からご提案いただいたものを追加します。

－ 選考結果集計 －

[事務局]

- ・ 今回は銅像だが、デザインについては、原型も造幣局に提出し、それを併せてデザインを作っていたことができるようである。

[森委員]

- ・ 写真については、大志を抱いて遠くを見つめる写真でなく、朝に撮った写真。
- ・ 銅像は右足をひいて、銅像用に本山白雲が作った。

[西山会長]

- ・ 集計結果はA-2、B-4、Cグループは2と3が同数、D-4、E-2、F-4。
- ・ 宮脇委員がHということで写真を使って提案されている。
- ・ この9つの中から5つに案を絞る。今出たところで何か意見は。
- ・ 結果を見ると、荒い海でものすごい波が打っているというのはない。
- ・ これから5つに絞るとなると、写真は残さないといけない気がする。写真を残すとなると、宮脇委員のHを入れるということになる。

[島田委員]

- ・ 上半身のほうがよいのでは。

[西山会長]

- ・ 全身を入れると小さくなるので、A、Bを除くというのはいかがでしょうか。

[各委員]

- ・ 異議なし

[事務局]

- ・ Cは2つあるが、荒い波というもので1つの形で考えていただいている。
- ・ 造幣局に確認したところ、6つの案で構わないとのこと。

[西山会長]

- ・ 6案でいいなら今まで選んだもの全てでいい。
- ・ 6案の中で意見が多かったというのは意味があるか。

[造幣局]

- ・ 意味はある。
- ・ 造幣局がデザインしたものをみると、またイメージが変わると思う。

[事務局]

- ・ 選考結果からAとBを除いた形を検討会の案という形で決めたい。

[西山会長]

- ・ あとは造幣局にお任せする。専門のデザイナーの方が見ていただいて、いろいろ組み合わせがあると思うので。

[島田委員]

- ・ 山の下に龍馬の顔がでてくるというような構図はないと思うが。

[森委員]

- ・ Fなら4、Gなら4になるということか。

[事務局]

- ・ それがベースになる。

－ デザインの素材の検討（五百円貨幣） －

[造幣局]

- ・ 高知城と龍馬の組み合わせは、両者とも緻密なため、かなり表現が難しい。龍馬の像をこの大きさで表現し、高知城をここに表すのは難しい。
- ・ 高知城だけでなく、その他の素材で何かと組み合わせるといふ案も選択肢があると思う。

[西山会長]

- ・ 「高知県」の文字は入るか。

[造幣局]

- ・ 過去の実績からしても、「高知県」の文字は入る。

[西山会長]

- ・ 「岩崎弥太郎」や「ジョン万次郎」の名前は入れられるか

[造幣局]

- ・ 名前を入れてはいけないとの決まりはないが、まず入れないのではないのでしょうか。

[西山会長]

- ・ ジョン万次郎の顔を知らない人がいる。

[事務局]

- ・ 岩崎弥太郎とジョン万次郎だが、財務省が出しているデザインのガイドラインの中では、基本的に、特定の人物を用いるのは出来ない。ただ、国民に広く親しまれ、歴史的にも評価が定まっている人物はいいということで、龍馬はクリアしている。

[十河副知事]

- ・ 岩崎弥太郎の写真はあるか。

[森委員]

- ・ 写真は有る。

[柴岡委員]

- ・ 千円は10万枚限定なので、ほとんど出回ることは考えられない。
- ・ 五百円は200万枚であり、非常に出回る可能性があると思うので、龍馬でない我々がここで考える意味がない。

[造幣局]

- ・ おそらく抽選になるでしょうが、高知県からの申込と他府県からの申込とは区分しており、他府県と違って高知県の人が応募されると当選の確率が高くなる。高知県の方に出来るだけ入手いただけるような方法になっている。

[柴岡委員]

- ・ 我々は高知県ではなく、全国に売りたいと思っている。10万枚と200万枚からすれば、テーマからいっても龍馬。

[森委員]

- ・ 岩崎弥太郎は「龍馬伝」からだと思うが、貨幣として出て行くのは龍馬しかないと思う。
- ・ 何種類も出来るのならいいが。

[事務局]

- ・ これについても、5案に絞っていただいて、次の会で決めていただくことになっている。
- ・ 高知城と龍馬は難しいようなので、2案目は無くし、龍馬の顔を使ったものから2つ選び、その他から3つを選んでいただく。あえて、顔で選ぶということでもよい。

[各委員]

- ・ 顔でいいのではないか。

[西山会長]

- ・ 全国的に有名なものは（例では）四万十川しかない。

[事務局]

- ・ 龍馬を選ぶなら、1グループの龍馬アップ4案で決定する。

[西山会長]

- ・ 他に何か提案は。

[各委員]

- ・ なし。

[西山会長]

- ・ それでは龍馬の4つのパターンで。写真の3と4はどう違うのか。

[森委員]

- ・ 撮った場所などが違う。刀を持って座っているものは所有者が違う。

ー デザインの素材の検討 (切手) ー

[西山会長]

- ・ ご意見、ご感想はないか。

[島田委員]

- ・ どれくらい発行するのか。マニアがしまいこんでおく程度か、普通に使用できるイメージか。

[事務局]

- ・ シートで300万シート。

[島田委員]

- ・ となると、結構使っていただけるイメージ。

[西山会長]

- ・ 事務局は、テーマを絞るのか、絞り込まずランダムにするのかを決め、それから台紙などを決めるよう進めていくということか。

[事務局]

- ・ 急がないので、自由にご提案いただきたい。
- ・ 想定されるテーマ一覧を参考に、思いつくテーマを書いていただき、後日お送りいただきたい。

[島田委員]

- ・ シートに「坂本龍馬と太平洋～時代を切り拓いた土佐人とその風土」という文字は載るのか。

[造幣局]

- ・ 過去の例をみても載っていない。

[酒井委員]

- ・ 全国の方がある程度わかるものでないと、あまり意味がない。

[事務局]

- ・ 高知を象徴するというか、高知といえばそういうイメージという素材。
- ・ 提案シートに台紙と、切手で5つ枠があるが、台紙としてたとえば高知城と書いていただいて、切手の5つに足摺岬とか四万十川とか思いつくものを書いていただき、それをもとに事務局で取りまとめ、次回写真の素材を加え、10～15案ぐらいに絞り込みさせていただく。

[西山会長]

- ・ みなさんの意見で観光、自然、祭りなどに絞った方がよいのかランダムがよいのか。

[十河副知事]

- ・ 今回のテーマ「坂本龍馬と太平洋」というコンセプトが良く、それでまとめていくのであれば、関係するものでまとめていかないと、なぜ、四万十川があり、高知城がないのかということになる。

[造幣局]

- ・ 1枚は記念貨幣の図柄が入る。それが県を表すイメージになると考えていただきたい。

[島田委員]

- ・ 文字が入るならコンセプトを気にしないといけなと思うが。
- ・ 高知城、だるま夕陽、足摺岬、野良時計、紙のこいのぼりなどで、観光コンベンション協会が何年か前に記念シリーズを出している。

[造幣局]

- ・ 今まで出したものは外してほしいと要望を出す、ということも考えられるのではないか。

[柴岡委員]

- ・ 「龍馬伝」の物語を切手に託すというのも手。ランダムに選べと言われても難しい。
- ・ 高知県の名所は切手に使われており、事務局が提案を具体化すべきでは。

[安岡委員]

- ・ 顔だけとなると、切手として綺麗ではなく使いにくい。

[柴岡委員]

- ・ ジョン万次郎をイメージするために足摺岬を用いるなど、物語になるように。

[森委員]

- ・ クジラを台紙にし、中岡慎太郎と板垣退助と岩崎弥太郎と武市半平太とジョン万次郎とで「幕末」で括り、「龍馬と幕末の土佐」というものを出すとか。
- ・ 切手でよさこいはどうだろうかという気がする。テーマと物語があるほうが良い。

[島田委員]

- ・ ある程度、皆が「使ってみたい」と思う気になるようなものにしないと。

[森委員]

- ・ 使わないで記念として保存するのではないかな。

[安岡委員]

- ・ ある程度経ったら使うもの。

[宮脇委員]

- ・ 保存版と、あるいは、使うものとは別に買う。
- ・ 資料の中で新鮮なものは皿鉢料理。切手では見たことがない。

[西山会長]

- ・ シリーズでまとめるものと、ランダムで高知がわかるものと、どちらかを選ぶのか。

[柴岡委員]

- ・ 物語と食ではどうか。「食」というのもコンセプトになる。産業振興計画にも関連する。

[事務局]

- ・ テーマを絞ってもいいし、偏ってしまうというのであればランダムでもいい。どちらでも、事務局で取りまとめる。

[西山会長]

- ・ 6月12日までに出すことになると思うが、それまでに写真はないだろうか。

[事務局]

- ・ 写真はまだ用意できていない。ご提案いただいたものは、観光部などから探す。
- ・ よい素材があれば、併せて送付していただきたい。

[宮脇委員]

- ・ 素材で、坂本龍馬のおりょうさんとか、生誕の家などを集めたら面白いと思う。

[事務局]

- ・ そういうのもご提案いただきたい。写真があるかどうかは確認する。

[西山会長]

- ・ それぞれ、テーマを選ぶか、人物などストーリーにするかは、自由ということで。

[柴岡委員]

- ・ 龍馬と生誕から脱藩までということにしてもいいかもしれない。

[森委員]

- ・ 千円硬貨の写真に、記念館に龍馬の独特のサインがあり、入れることはできるか。

[造幣局]

- ・ 可能であると思われる。

[事務局]

- ・ 今回選定していただいた千円と五百円のテーマは、この会の結果を知事に報告し、県の提案として造幣局に提出する。
- ・ 次回の検討会は造幣局からデザイン案が示された時点で開催する。予定では7月の初旬に示されることになるので、7月中旬に日程調整をお願いする。